

水源環境保全・再生かながわ県民会議 令和3年度第1回事業モニター

日 時 令和3年10月6日(水) 10時30分～15時35分

会 場 足柄上合同庁舎東側会議室 A

視察現場 山北町世附地内 源五郎沢

出席者 県民会議委員 8名(鈴木座長、小笠原委員、増田委員、豊田委員、根岸委員、上田委員、原田委員、星野委員)

内 容 以下のとおり

1 事業概要の説明(10:30～11:05 於:足柄上合同庁舎東側会議室 A)

■説明内容

・第3期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画の3番事業(新規)の「土壌保全対策の推進」のうち、水源林基盤整備事業の事業目的、目標、工法、実績等について、森林再生課が説明を行った。

■主な質疑

Q:平成29年度から事業に取り組んでいるということは、台風が大規模化する前から土木的工法を必要とする箇所が年々増えてきたということか。(根岸委員)

A:平成22年の台風でかなり広範囲に渡り、各箇所ですべて従来では対処できないような崩壊となったので、事業に着手した。(森林再生課)

Q:土壌保全で土木的工法を取り入れることとなった理由は如何。(根岸委員)

A:近年は、土壌自体が明らかに耐えられないような、雨の降り方によって変わってきてしまったからかと考える。そういうことから、土木的工法を取り入れて、しっかり地盤を固めるということになった。(森林再生課)

Q:土木的工法について説明があったが、草の吹き付けなど緑化法を含むものか。視察現場は、具体的にどのような工法によるものか。(鈴木座長)

A:視察現場の源五郎沢は、令和2年度に種子の入った藁状の緑化シートを使用した。現地の種子を採取して入れるのはなかなか難しいこともあり、早期回復を図るという事を優先して牧草中心の種子入り緑化シートを使用した。この牧草だけが生きながらえるというわけではない。将来的に現地の植生が変わっていくと考えている。(県西地域県政総合センター森林部治山課)

2 現場視察

(1) 11:35～14:05 山北町世附地内 源五郎沢

■説明内容等

- ・県西地域県政総合センター森林部治山課から、県西地域で実施した事業について、説明を受けた。
- ・令和元年度～2年度に施工した源五郎沢を視察した。
- ・鈴木座長から、丹沢湖周辺の環境の経過、ダム湖への土砂流入等にかかる説明を受

けた。



▲源五郎沢 現場視察の様子

3 意見交換（14:20～15:35 於：足柄上合同庁舎東側会議室 A）

モニター実施後、県民会議委員による意見交換を行った。初めてスコリア（富士山の火山噴出物）を直接見ることができた、緑化（植物の根張）によって土壌を固めていくことが有効と分かった、などの意見があった。



▲意見交換の様子

(以上)